

第1回 意見交換会 要旨

開催日時	9月 26日(水) 19時 ~ 21時		
市町村名	大町市	グループ名	5班

要旨

ライフライン復旧(H7)に従事したが、白馬以北は道路が1本しかないのもう1本必要(連絡道路が良いかは別)賛成。フォサマグナの災害が予測されている。9/17県地震対策専門委の信毎記事。この地域は地盤が弱くM8以上の地震が来ることが予測され災害に強い道が必要。

道が出来れば人、物が動く。地域の活性化のために道路が必要。

賛成出来ない。膨大な金をかけ、自然を破壊する必然性はない。小谷の災害に対しての対策は別の方法もあり、バックアップ道路の検討を始めるべきだ。

メリット 振興に対する貢献については、すでに道路の整備が進んでいる中でこの道路が出来ても疑問。デメリットは確実にやってくるもので取り返しがつかない。

建設業に従事。蒲原沢、56豪雪を経験している。除雪しても道路幅は半分になってしまう。幹線道路が欲しい。糸魚川へ、環日本海時代に向けてこの道路が欲しい。

旅館です。おおむね賛成。スキーヤー等の動向をみると道路整備が進み渋滞は緩和したが、豊科I.Cで渋滞。長野回りで来たとか、志賀へ行く人もいる。

最近客が減っている。遠くから多くの人ができるようにしたい。

より長く滞在する人を増やす街づくりが必要。時間短縮により、滞在者が減るだけでなく、増える可能性。渋滞が無くなり、時間の浪費がなくなる。

大町以北と以南で温度道がある。南は5~6本白馬以北には1本だが、生活道路の改良で良いではないか。道路に使うお金を別のことに使う。少子化で交通量が減るのだからこの道を考え直す。

議会では、唯一高速交通網からはずれた大北には道路が必要。

交流人口増加を図り第3次総合計画を立てる中で道路が必要ではないかという結論に達した。

情報不足が問題で今の様な状況になった。もっと議論してこの問題を進めて行くべきだ。

便利になっても来る価値のある大町にすることが大事。

災害時に残るとは限らない。

空気は汚れる。限られた期間の渋滞、景観を重視し、これ以上人工的な物を作って欲しくない。

速さ、便利さイコール生活の豊さではない。

小谷村との往復が多い。冬はスキー客のラッシュと重なる。5~6時間かかることもあり、生活者としては苦痛であり道路の実現を望む。

大町病院への通院にも道路の必要性を感じた。

第1回 意見交換会 要旨

開催日時

9月 26日(水)
19時 ~ 21時

市町村名

大町市

グループ名

5班

要旨

大町の衰退は鉄道荷物の廃止から始まったと思う。それに変わるものとして道路が問題となるが、対応が遅れている。子供を育てても、大町に職場がない。この確保のために是非とももう一本道路が欲しい。道路は充実すべき。小谷は融雪、狭い所は拡幅などメリハリをつけて道路行政を行うべき。トイレなど観光施設の充実が必要。

次回10月10日